

令和4年度第一回横浜市戸塚区民文化センター指定管理者選定評価委員会会議録	
日 時	令和4年10月26日（水）16時00分～17時00分
開 催 場 所	戸塚区役所9階特別会議室
出 席 者	石田麻子委員、嘉藤亮委員、田内和男委員、常光明子委員、藤崎晴彦委員 岩崎地域振興課長、山本区民利用施設担当係長、青木、鈴木
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開（傍聴者0人）
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 出席者紹介 3 横浜市戸塚区民文化センター指定管理者選定評価委員会の趣旨等の説明 4 委員長及び職務代理者の選出 5 定足数の確認 6 委員会の公開・非公開について 7 評価基準及び評価の進め方について 8 その他（日程調整等） 9 閉会
決 定 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員長は藤崎晴彦委員、職務代理者は常光明子委員に決定 2 当委員会の会議及び会議録は公開とする。 3 評価項目について <ol style="list-style-type: none"> (1) 基本事項に加え、中期的な取り組みについての評価も重視する。 (2) 前回追加した評価項目について継続して評価を行う。 (3) コロナ禍における運営状況及び日常的なリスク管理について、新規評価項目として追加する。 (4) 確定にあたっては、事務局が取りまとめ、委員長がこれを整理する。 4 会議録の内容については、事務局が作成し、委員長がこれを整理する。
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1 開催について <p>開会に先立ち、事務局より挨拶</p> 2 出席者紹介 <p>それぞれ自己紹介</p> 3 横浜市戸塚区民文化センター指定管理者選定評価委員会の趣旨等の説明 <p>本委員会の趣旨や本日の議題について事務局より説明</p> 4 委員長及び職務代理者の選出 <p>横浜市戸塚区民文化センター指定管理者選定評価委員会運営要綱（以下「要綱とする）第6条に基づき、委員の互選により藤崎委員を委員長に選出 要綱第6条第3項に基づき、委員長が常光委員を職務代理者に指名</p> 5 定足数の確認 <p>事務局より、要綱に基づく会議開催の定足数について説明 本委員会が要件を満たし、成立していることを報告</p>

6 委員会の公開・非公開

(事務局) 条例や要綱に基づき、本委員会の公開・非公開について説明

本委員会は、非公開にする理由に該当せず、令和元年度開催時も公開として
いるため、公開で進めることが望ましいと考える。

(藤崎委員長) 公開として取り扱うということによろしいか。

(委員) 異議なし

7 評価基準及び評価の進め方

(委員) 中期的な計画への評価については、令和2年度と令和3年度に焦点を
当てればよいのか。

(事務局) 単年度の事業計画とは別に、5年ごとの事業展開についても計画が立て
られているため、中期的な視点でも評価してほしい。

(委員) 休館や利用制限など、コロナによる影響がどのようにマイナスになったか、
またそれをどのようにプラスに転換しようとしたのかを伺いたい。

(委員) 中期計画に対する評価の際に休館スケジュールや施設稼働率等を考慮する
ため、施設の大規模改修に関するスケジュールをあらかじめもらいたい。

また、15年間のPFI事業ということで、取組や考え方について他施設
との違いが知りたい。

(委員) コロナによる影響については想定していない事情であるため、数字の見方や
評価の方法に注意するとともに、新規項目として追加すべきと考える。

(委員) マイナス面については、委員が判断しやすいよう自己評価や行政評価に
記していただき、想定していなかった新たな取組やプラスに転じた面
については新たな項目を設けても良いかと思う。

(委員) 当該項目の評価にあたっては、コロナへの対応について可視化してもら
えると、特殊事情の中で施設がどのような取組を行ったのか評価できる。

(委員) オンラインを活用した取組など、今までになかった取組を実施したことが
読み込める項目を設定したい。

(委員) コロナ対策のガイドラインについて、遵守状況については、各評価項目に
落とし込まれるのか、別項目で立てた方がよろしいか。

(事務局) 個別の事業に対する実績についてはガイドラインが示す基準をもとに
評価出来るが、施設運営全体としてコロナの影響を受けて変化したもの
については、新しい項目を立てた方が評価しやすいと考える。

(委員) 長期にわたって運営しているメリットとして、事業に参加された方々が
施設や地域にどう還元しているのか、プラットフォームとしての役割という
観点で評価したい。既存の評価項目で読み込めるところはあるか。

(事務局) 発信する事業という点では既存の項目で読み込めるが、還元していく
という視点で必要であれば新規項目として追加する方法も考えられる。

(委員) 例えば、施設が主催して実施した人材育成の事業などで、その取組が地域
や施設へ還元された事例があれば評価に落とし込みたい。

(事務局) 自主事業に参加した団体が、施設や地域に還元して新たな事業が創出された
事例があれば追加資料とするので、評価の参考にしてもらいたいと思う。

	<p>(委員) 災害対策におけるリスク管理や、事故や施設利用に関するトラブルなど、日常レベルでのリスク管理体制についての項目を追加するとともに、資料をいただきたい。</p> <p>(事務局) 施設へどのような事例があったかなどを含めて聞き取りを行い、資料として提示することは可能。</p> <p>(委員) 前回新規に追加した項目は継続して評価を行うとともに、コロナ禍での対応、リスク管理のマネジメントや考え方に対する評価項目と資料を新たに追加する形でよろしいか。</p> <p>(委員) 人材育成・組織体制に関わる評価にあたっては、管理期間が長期間にわたることから人員の入替えに関する資料もいただきたい。</p> <p>(事務局) 了承</p>
	<p>8 その他（日程調整等）</p> <p>(藤崎委員長) その他、意見等の確認</p> <p>(委員) 特になし</p> <p>(事務局) 第二回評価委員会の日程は、事前に調整がつかなかったため、再調整の上、皆様へ周知する旨説明</p>
	<p>9 閉会</p> <p>事務局は会議録を作成し、ホームページへ公表することを確認 また、会議録案の作成については委員長に一任に決定</p>
<p>配付資料 ・ 特記事項</p>	<p>1 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 横浜市戸塚区民文化センター指定管理者選定評価委員名簿 (2) 横浜市戸塚区民文化センターについて (3) 評価及び今後の流れについて (4) 横浜市区民文化センター条例 (5) 横浜市戸塚区民文化センター指定管理者選定評価委員会運営要綱 (6) PFI 事業に伴う公益施設整備事業要求水準書（抜粋版） (7) 戸塚駅西口文化施設基本構想【提言】 (8) 横浜市文化施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン（令和4年3月28日改訂版） (9) 令和元年度開催時の評価項目について（別紙） <p>2 特記事項</p> <p>今回は、令和5年2月15日（水）に開催予定</p>